

# インマヌエル中目黒キリスト教会 2017年10月29日聖日合同礼拝

---

宗教改革500周年記念日を迎えて

「信仰による義認の意義」

ローマ人への手紙

1章13節～17節

梅田昇牧師

# 聖書朗読

## 新約聖書

### ローマ人への手紙

### 1章13節～17節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
(©新日本聖書刊行会)を使用しています

第二版の聖書は 265 ページ

第三版の聖書は 289 ページ

13 兄弟たち。ぜひ知っておいていただきたい。私はあなたがたの中でも、ほかの国の人々の中で得たと同じように、いくらかの実を得ようと思って、何度もあなたがたのところに行こうとしたのですが、今なお妨げられているのです。

14 私は、ギリシヤ人にも未開人にも、知識のある人にも知識のない人にも、返さなければならぬ負債を負っています。

15 ですから、私としては、ローマにいる

あなたがたにも、ぜひ福音を伝えたいのです。

16 私は福音を恥とは思いません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。

17 なぜなら、福音のうちには神の義が啓示されていて、その義は、信仰に始まり信仰に進ませるからです。「義人は信仰によって生きる」と書いてあるとおりです。

# 説 教

宗教改革500周年記念日を迎えて

「信仰による義認の意義」

ローマ人への手紙

1章13節～17節

梅田昇牧師

# 宗教改革記念日を迎えて

## 宗教改革運動の遺産

	信仰による義認(Justification by faith)
	聖書の至上性(Supremacy of the Bible)
	万人祭司制(Universal priesthood of believers)

### ルターと95箇条の提題



ローマ人への手紙について

今朝は

「**信仰による義認の意義**」

について、御言葉をお分かちしたい。

信仰によって義とされるとは一体どのような意義があるのか？

# ・ 神の義の啓示

第一に、神の義が啓示された事実についてです。

1章17節「なぜなら、福音のうちには神の義が啓示されていて、その義は、信仰に始まり信仰に進ませるからです」。

## A . 神の義の啓示

- ① ノアの時代
- ② ロトの時代
- ③ エルサレム滅亡の時代



# ． 神の義の啓示

B． 人間の罪深さの現実

C． 神の義が福音の中に啓示されている事実



# ・ 神の義を得る方法

第二に、神の義を得る方法についてです。

## A．信仰による義認

1章17節

「**義人は、信仰によって生きる**」。

行ないや儀式によるのではなく、  
信仰によって。

B．信仰義認はパウロの強調  
新約聖書全体の教え

C．信仰義認の結果と幸い



# ・ 神の義を伝達する使命

第三に、神の義を伝達する使命について。

A．パウロの義認体験

B．パウロの福音宣教の使命(14～15節)

C．パウロの福音の普遍性に対する確信(16節)



# 結論 .

今朝は、

「**信仰による義認の意義**」

について語らせて頂いた。

- 1 信仰によって義とされる幸いを感謝したい。
- 2 信仰によって、神さまとの平和が与えられるというすばらしい福音のために、それぞれの立場で歩ませて頂こうではないか。